

日本特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日  
Date of Application:

2000年 6月23日

出願番号  
Application Number:

特願2000-190008

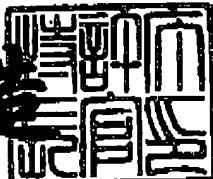
出願人  
Applicant(s):

松下電器産業株式会社

2001年 5月11日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3039958

特 2 0 0 0 - 1 9 0 0 0 8

【書類名】 特許願

【整理番号】 2931020033

【提出日】 平成12年 6月23日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 7/50

H04N 7/088

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式

会社内

【氏名】 宗頼 敏彦

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式

会社内

【氏名】 江村 恒一

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式

会社内

【氏名】 栗藤 稔

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式

会社内

【氏名】 荒木 昭一

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100105647

【弁理士】

【氏名又は名称】 小栗 昌平

特 2 0 0 0 - 1 9 0 0 0 8

【電話番号】 03-5561-3990

【選任した代理人】

【識別番号】 100105474

【弁理士】

【氏名又は名称】 本多 弘徳

【電話番号】 03-5561-3990

【選任した代理人】

【識別番号】 100108589

【弁理士】

【氏名又は名称】 市川 利光

【電話番号】 03-5561-3990

【選任した代理人】

【識別番号】 100115107

【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 猛

【電話番号】 03-5561-3990

【選任した代理人】

【識別番号】 100090343

【弁理士】

【氏名又は名称】 栗宇 百合子

【電話番号】 03-5561-3990

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2000- 74875

【出願日】 平成12年 3月16日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 092740

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

特 2000-190008

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0002926

【ブルーフの要否】 要

特2000-190008

【審査名】 明細書

【発明の名称】 データ処理方法および記録媒体、並びに該データ処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 時間に応じて変化するメディアコンテンツ、および前記メディアコンテンツの文脈内容を、メディアコンテンツを表す一つの要素で構成された最上位層と、メディアコンテンツを区分けしたメディアセグメントを表し、該当するメディアセグメントの時間情報とスコアとが属性として付加された要素で構成された最下位層と、該当場面のスコアが属性として付加され、少なくとも一つの前記メディアセグメントと直接または間接に関連付けされた、場面あるいは場面の集合を表す要素で構成されたその他の階層と、から構成された階層構造で記述された文脈内容記述データを入力する入力ステップと、

前記文脈内容記述データの前記スコアに基づいて、前記メディアコンテンツ中の少なくとも一つの区間を選択する選択ステップと、  
を備えたことを特徴とするデータ処理方法。

【請求項2】 前記メディアコンテンツから、前記選択ステップが選択した区間に對応するデータのみを抽出する抽出ステップをさらに備えたことを特徴とする請求項1に記載のデータ処理方法。

【請求項3】 前記メディアコンテンツから、前記選択ステップが選択した区間に對応するデータのみを再生する再生ステップをさらに備えたことを特徴とする請求項1に記載のデータ処理方法。

【請求項4】 前記スコアはメディアコンテンツの文脈内容に基づいた重要度であることを特徴とする請求項1、2または3に記載のデータ処理方法。

【請求項5】 前記スコアは該当場面におけるキーワードの観点に基づいた重要度であり、

前記選択ステップは、少なくとも一つの観点から前記スコアを用いた場面の選択を行うことを特徴とする請求項1、2または3に記載のデータ処理方法。

【請求項6】 前記メディアコンテンツは、映像情報または音情報であることを特徴とする請求項1、2、3、4または5に記載のデータ処理方法。.